

平成25年10月作成 (坊下隆子記)

年度別	平成23年度(2011年)	平成22年度(2010年)	平成21年度(2009年)	平成20年度(2008年)	平成19年度(2007年)
代表幹事	藤田尚秀	大石秀成	北牧裕幸	松本敏嗣	倉田裕之
卒業年次	昭和55年卒	昭和54年卒	昭和53年卒	昭和52年卒	昭和51年卒
幹事団名称	剛豪会	えびす会		777の会	
開催場所	グランドプリンスホテル 新高輪「飛天」	グランドプリンスホテル 新高輪「飛天」	グランドプリンスホテル 新高輪「飛天」	グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール「北辰」	新高輪プリンスホテル国際館 パミール「北辰」
開催日	平成23年4月16日(土)	平成22年4月24日(土)	平成21年4月25日(土)	平成20年4月19日(土)	平成19年4月21日(土)
開催時間	11:30受付開始 12:30開会宣言 15:00終了	11:30受付開始 12:30開会宣言 15:00閉会宣言	11:30受付開始 12:30開会宣言 15:00閉会宣言	11:30受付開始 12:30開会宣言 15:00閉会宣言	12:00受付開始 13:00開会宣言 15:30終了
総会出席者数	498名	517名	527名	530名	646名
会費	会員1万円、同伴8千円	会員1万円、同伴8千円	会員1万円、同伴8千円	会員1万円、同伴8千円	会員1万円、同伴8千円
若い世代	学生3千円	学生3千円	――	――	――
収入金額	5,235,000円	5,374,000円	5,492,000円	5,476,000円	6,665,000円
支出金額	4,242,226円	5,170,142円	5,285,497円	5,308,955円	6,451,142円
最終余剰金	550,940円 (441,183円)	203,858円	206,503円	167,045円	213,858円
テーマと コメント	「絆一繋ぐ、繋がる、悠久の 同士」 2011年3月11日未曾有 の東日本大震災発生、津波 による死者、被災者数万人。 津波による福島原子力発電所 崩壊による放射能漏れと放射 能汚染が深刻。全国的な 自粛ムードの中開催を決定。 幹事団がすべての予算を見直し ホテル側と交渉の末、多額の 剰余金がうまれた。支部役員と 当番幹事団の話し合いで あしなが育英会に募金 158,166円＋441,834円＝60万円 を寄贈した。お土産創立140周年 記念ロゴ入り枰、清酒吉乃川 300ml	「踊り、おどる。心躍る！」 あの心のときめきをもう一度 初めての参加型懇親会を開催 受付の横に各世代のアルバムの 数コマを引き伸ばして展示。 本間支部長の太鼓に合わせて 民謡流し「長岡甚句」を当番 学年幹事団のリードもと会場で 輪になって踊った。その後ミラー ボールの下でディスコタイムを 開催。今まで参加型の懇親会 が無かったので大いに盛り 上がった。長岡の逸品を入れた 「お楽しみ袋」を千円で販売。 お土産「和同甚吉袋」と 新潟産こしひかり	甦る球音 あの夏の甲子園 を再び！ 昭和52年(1977年) 56年ぶりに夏の甲子園に 出場した野球部の特別ビデオを 上映、当時の野球部メンバーが 長高野球部ユニフォームを着て 壇上に登場、当時の二宮部長、 柴山監督にも登壇して頂き甲子園 秘話を披露していただいた。 お土産「天地人 のり絵巻」、 清酒「朝日山」 郷土料理(のっぺ、しょうゆ赤飯、 十日町そば、栃尾の油揚げ、 えご、梨茄子の漬物)	「悠久山の桜が咲くころ 集いましょう」 同窓会の意義を披瀝 鏡開き(2樽) 吹奏楽部演奏にのせた 懐かしの映像 大抽選会 応援歌合唱 お土産 美の川酒造 悠久の桜300ml	「会いたい」 高輪に“長岡”がやってくる。 ――音と映像で蘇るあの頃。 1)ビッグバンド(ローズ)に よる生演奏 2)応援歌合唱 3)ビデオ上映3部作 a)現在の長岡高校の様子 b)フェニックス花火 c)30年前のあの頃 4)懐かしの味、満載！ お土産「長岡赤飯、 ビール2缶

平成26年7月作成 (坊下隆子記)

平成28年5月作成 (米山澄泰記)

年度別	平成28年度(2016年)	平成27年度(2015年)	平成26年度(2014年)	平成25年度(2013年)	平成24年度(2012年)
代表幹事	谷 直樹	風間康浩	大原康一	渡辺謙哉	田所公一
卒業年次	昭和60年卒	昭和59年卒	昭和58年卒	昭和57年卒	昭和56年卒
幹事団名称		架け橋の会41x84	5840の会「ゴハンジューノ会」	CHK57	五六(ゴロウ)の会
開催場所	京王プラザホテル新宿	グランドプリンスホテル	グランドプリンスホテル	グランドプリンスホテル	グランドプリンスホテル
	コンコードボールルーム	新高輪大宴会場「飛天」	新高輪大宴会場「飛天」	新高輪大宴会場「飛天」	新高輪大宴会場「飛天」
開催日	平成28年4月16日	平成27年4月11日(土)	平成26年4月12日(土)	平成25年4月13日(土)	平成24年4月14日(土)
開催時間	11:00受付	11:30受付	11:30受付	10:30受付	11:30受付
	11:30開会宣言	12:30開催宣言	12:30開催宣言	12:30開催宣言	12:30開催宣言
		15:00閉会	15:00閉会	15:00閉会	15:00閉会
総会出席者数	684名	647名	650名	657名	588名
会費	会費1万2千円、同伴者8千円	会費1万2千円、同伴者8千円	会費1万2千円、同伴者8千円	会費1万円、同伴8千円	会費1万円、同伴8千円
若い世代	学生3千円/4名参加	学生3千円/10名参加	学生3千円/5名参加	学生5千円	――
収入金額	8,384,191円	8,022,548円	8,040,525円	6,776,143円	6,160,023円
支出金額	7,880,304円	7,133,278円	7,198,140円	6,145,961円	5,298,075円
最終余剰金	503,887円	889,270円	842,385円	630,182円	861,948円
テーマとコメント	「新宿で、のもーれ、くおーれ、うたおーれ」という合言葉の元に、皆様を懐かしい長岡にお連れします。懐かしいあの顔この顔との再会、そして皆で歌う校歌は、一瞬にして我々をあの学び舎で共に学んだ日々連れ帰ってくれます。「ごーぎ久しぶりだね！元気だった？」 「先生にかけられたつけさー」「陸上部会じゃゲッポらったてー」「文化祭の美人コンテストで優勝したがりー？」 ・・・この日だけは長岡弁が標準語です。 2016年の東京同窓会は「新宿で、のもーれ、くおーれ、うたおーれ」という合言葉の元に、皆様を懐かしい長岡にお連れします。	新たな再会・新たな繋がりが長高Energy Full Charge!! ☆タイムスリップ写真館 思い出の場所をモデルにした、撮影スポットを設け懐かしい風景をバックに、久振りに再会した、先輩後輩部活や同好会、地域の集りこの日出会った新しい仲間との記念撮影。 10年前の幹事と今年の幹事との、インタビュー等インタビュー等の方法も変えより多くの方が参加。	東京同窓会第40回記念 長高にありがとう ～人に笑顔に長高にありがとう～ 1)写真展示コーナー 長岡高校記念資料館の懐かしい写真をパネルにして展示 2)卒業アルバム、在学当時の新聞記事を各テーブルに配布「想い出の日々」昭和40～50年代を中心にして～ 3)～懐かしい長岡の映像第一弾日活製作「青春の鐘」第二弾日活製作「爆弾男といわれるあいつ」 4)～学び舎に想い出～と題した7分間のスライドショー上映 5)「2013長岡大花火祭り大会」お土産「40回記念扇子」を配布	長高日和 ～長高生でよかった～ 総会前のスペシャルイベントで同期の入船亭扇辰氏が落語を披露過去最高の657名参加。 懇親会直前に軽食と酒を提供し好評。郷土料理はやめホテル側と協議し内容充実。 「トリビアクイズ」は全体の会話に配慮しテーブルを回り実施したが、内容を聞きたかった、参加したかったという感想が複数あり。 お土産は長高日和クリアフォルダー(デザイン著作権は東京同窓会保有)と紅白の大手饅頭。 昭和56年卒から懸垂幕プロジェクトを引き継ぎ、同窓会準備と併行し、昭和47年卒製作時のデザインにて新調、当日初披露。	すべてここから 郷土の誇り「長岡花火」をテーマに和・輪・話の織り成す同窓会を開催。和やかな気持ちで、輪になり話に咲かせれば何かが生まれる。大林宣彦監督による「この空の花」の予告編と挨拶。 2011年大花火大会の映像(祝140周年、和同の絆、フェニックス、天地人、正三尺玉 他。郷土料理のっぺ汁、煮長岡銘菓、お土産長岡花火をデザインしたオリジナルパッケージ地酒また、懸垂幕(昭和47年卒製作)について余剰金枠内を条件に、同年卒の協力のもと同デザインでの製作を検討開始、昭和57年卒に引き継ぎ

平成30年7月作成 (米山澄泰記)
令和2年1月/令和5年6月作成 (谷直樹記)

年度別	令和3年度(2021年)	令和2年度(2020年)	平成31年度(2019年)	平成30年度(2018年)	平成29年度(2017年)
代表幹事	山内 孝則	野澤 剛	若月 公紀	荒川 太郎	中澤 雄大
卒業年次	平成2年卒	平成元年卒	昭和63年卒	昭和62年卒	昭和61年卒
幹事団名称					
開催場所	京王プラザホテル新宿	京王プラザホテル新宿	京王プラザホテル新宿	京王プラザホテル新宿	京王プラザホテル新宿
	けやき(オンライン開催)	コンコードボールルーム	コンコードボールルーム	コンコードボールルーム	コンコードボールルーム
開催日	令和3年6月12日	令和2年4月18日(中止)	平成31年4月20日	平成30年4月14日	平成29年4月15日
開催時間	16:00～17:00	-	11:00受付	11:00受付	11:00受付
		-	11:30開会宣言	11:30開会宣言	11:30開会宣言
総会出席者数	-	-	622名	595名	632名
会費	-	-	会費1万2千円、同伴者8千円	会費1万2千円、同伴者8千円	会費1万2千円、同伴者8千円
若い世代	-	-	学生3千円/3名参加	学生3千円/6名参加	学生3千円/4名参加
70歳以上	-	-	会費1万円	会費1万円	会費1万円
収入金額	0	42,002	7,743,002	7,087,003	8,060,003円
支出金額	20,434	27,942	7,143,703	6,709,116	7,393,949円
最終剰余金	-20,434	14,060	599,299	377,887	666,054円
テーマとコメント	■長岡高等学校創立150周年という記念すべき年でしたが、コロナ禍継続により、Zoomウェビナーを利用した初のオンライン開催となりました。 ■試行錯誤を繰り返しながらのオンライン開催でしたが、通常は参加できない海外(アメリカ・ブラジル)からの視聴を含め、157名のオンライン参加がありました。	■平成元年卒が贈る『平成』から『令和』へ受け継ぐ『平和の集い』をコンセプトに企画・準備を行うも、新型コロナウイルス感染拡大により延期を余儀なくされ、最終的に中止となりました。 ■大型スクリーンによる花火の投影といった「平和」を願った令和最初の企画は幻になってしまいました。	■総会において、退任される山岸支部長に代わって、大原副支部長が次期支部長に選任されました。 ■昭和最後の卒業生による、平成最後の同窓会と銘打った懇親会は、『昭和～平成～令和を繋ぎ、世代を超えた同窓生の絆を繋いでいく「おとなの和同祭」』をテーマとして開催されました。 ■「繋(つなぐ)」のコンセプトを中心に、日本酒16種の飲み比べや長岡の郷土料理を楽しみつつ、世代を超えての親睦を図ることができました。また、おとなの和同祭企画として、書道や学年体操が披露され、会場一体となって盛り上がりしました。	「長高LIVE※!」という企画コンセプトに基づき、三つのステージをご用意しております。同窓の友との語らいや、故郷のお料理・地酒をお楽しみいただきながら、思い出深い東京同窓会のひとときを演出 音楽ライブではピアノの生演奏で校歌・応援歌のアレンジ+オリジナルダンス・Netライブではインターネットで生中継などなど、今年も楽しませて下さいました。 特にピアノアレンジの校歌・応援歌はCDにて配布の希望が続出しました。	「長高今昔物語 ～そらったねえ。今はなじらね?～」 会場に集うさまざまな年代を象徴する映像と音楽をご紹介します、みなさまが在校生であったころの学び舎や街の情景、当時のエピソードを懐かしく思い出していただくとともに、そうした話題をきっかけとして、さまざまな年代の同窓生同士が学年という垣根を飛び越え、親しく楽しく語らえる場を提供していただき、特に制服廃止の際の討議の肉声や、修学旅行廃止の真相など資料集めも大変だったと思いますが、大好評を頂きました。以下追記(H30.4月) 映像はDVDにて各学年幹事にコピー不可・ネットアップ禁止にて平成30年の総会に配布いたしました。

令和5年6月・令和8年6月作成 (谷直樹記)

年度別	令和7年度(2025年)	令和6年度(2024年)	令和5年度(2023年)	令和4年度(2022年)
代表幹事	中村 芳明	池山 友志	田中 信好	庭野 議隆
卒業年次	平成6年卒	平成5年卒	平成4年卒	平成3年卒
幹事団名称				
開催場所	京王プラザホテル新宿 コンコードボールルーム	京王プラザホテル新宿 コンコードボールルーム	京王プラザホテル新宿 コンコードボールルーム	京王プラザホテル新宿 けやき(オンライン開催)
開催日	令和7年4月19日	令和6年4月20日	令和5年4月22日	令和4年4月16日
開催時間	11:00受付 11:30開会宣言	11:00受付 11:30開会宣言	11:00受付 11:30開会宣言	15:00～16:00
総会出席者数	486名	440名	336名	-
会費	会費1万3千円、同伴者8千円	会費1万3千円、同伴者8千円	会費1万3千円、同伴者8千円	-
若い世代	学生3千円	学生3千円	学生3千円	-
70歳以上	会費1万3千円	会費1万3千円	会費1万3千円	-
収入金額	6,941,000	6,268,000	4,783,003	0
支出金額	6,993,290	6,355,985	4,895,458	77,774
最終剰余金	-52,290	-87,985	-112,455	-77,774
テーマと コメント	■「時の架け橋～カコ・イマ・ミライ～」をテーマとして、先輩・後輩の世代間をつなぎ、さらに未来へとつなぐ同窓会でした。 ■「153年分の青春」と題したオープニングムービーが大好評でした。また、世代を超えたクロストーク「思い出の架け橋」やドキュメンタリー「未来への架け橋」といったイベントが続き、エンドロールまでのコンセプトに沿った演出が光りました。 ■物価高の時代となり、コスト削減の工夫はもちろんのこと、参加規模の拡大にも取り組み、申込者数で500名の規模まで戻すことができました。	■記念すべき第50回開催は、第二校歌にもある「淵源 - MINAMOTO-」をコンセプトとして開催されました。 ■オープニングムービーとして「東京同窓会歴史ムービー」が幹事学年のチェロ奏者 片野大輔さんが率いる「アンサンブル・オビリー」の演奏と共に上映されました。 ■キラリビトギフトと称する第50回記念のプチギフトの抽選や花火映像の上映があり、長岡甚句の盆踊りでは浴衣姿の当番幹事団が会場を盛り上げてくれました。	■「未来につながるRE:Start - 今、長高を語ろう! -」をコンセプトに4年ぶりのリアル開催でした。 ■感染対策を講じながらの定員300名の制限ではありましたが、次に繋がる4年ぶりのリアル開催が実現できました。 ■寄付を募る仕組みやITを駆使した新しい試みで効率の良い、効果的な運営を成功させてくれました。	■「長高 150 周年を振り返る・そしてその先へ」をコンセプトとしたオンライン開催でした。 ■前年開催された150周年記念式典に関する報告と記念映像である「長岡高校150年の歴史」のダイジェスト版の配信がありました。